

ホスピタル パートナーシップ

(患者様と医療者の協力による治療の推進)

吉野病院 院長 仁志川高雄

病気を治療するためには、医師や看護師が一方的に診察をしたり、お世話をしたりするだけでなく、患者様自身も自分の希望や要望を述べられて、よりよい環境で共に治療を進めていくことが大切です。

医療者すなわち病院の医師や看護師と、治療を受ける患者様とのお互いの協力によって、心の通った満足のいく医療を行わなくてはなりません。このような患者様と医療者の関係を「ホスピタル パートナーシップ」と呼んでいます。

吉野病院では、この「ホスピタル パートナーシップ」を十分実践できるように努めております。

病気の治療の主役は患者様自身であり、病院や医師の都合が主役とはならないことです。病気の種類によっては、治療を受ける患者様自身が積極的に治療に参加してもらい、共同作業で治療を進めていく必要があります。今までによく言われていた「おまかせ医療」「一方的な医療」ではなく、患者様と医療者が力を合わせて、治療に取り組むようにしましょう。このため、患者様からご自分の病気の治療に関して、ご意見や要望を聞かせていただき、また、医療者が行おうとしている医療を十分に理解し、納得していただいて、相互に協力を持ちながら医療を進めていこうと努めております。

患者様の安全を守るために、病院のさまざまな場所でご自分の名前を名乗ったり、個人的な体の特徴（アレルギー歴など）を述べていただくこともあります。さらに、病院内での環境を良くするためにいくらかの規則も守っていただくこととなりますが宜しくご協力下さい。

病気に関する質問や病院での生活における要望やお困りの点、お気づきになった点などはご遠慮なく医療者にお申し出下さい。

吉野病院では、患者様を中心とした「地域の皆様に信頼される良質な医療」をめざしております。患者様と医療者のお互いの協力で、より良い医療を作り上げていきましょう。